



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社
 コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 信義
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 須多 敦子
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 079-235-6005
 平成23年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	85,106	11.4	6,368	△14.1	6,013	△14.3	3,565	△11.9
23年3月期第2四半期	76,405	99.3	7,411	—	7,018	—	4,044	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,652百万円 (△3.9%) 23年3月期第2四半期 2,760百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	22.09	—
23年3月期第2四半期	25.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	188,105	94,428	50.0
23年3月期	188,213	92,591	49.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 93,990百万円 23年3月期 92,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、定款において9月30日(第2四半期末日)および3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、3月31日(期末日)を基準日とする配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄をご参照ください。)

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	3.4	13,500	△4.9	13,000	△3.0	7,700	△1.6	47.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	167,124,036 株	23年3月期	167,124,036 株
24年3月期2Q	5,766,123 株	23年3月期	5,749,745 株
24年3月期2Q	161,368,618 株	23年3月期2Q	161,401,617 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、今後の電力供給事情等、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。)

3月31日(期末日)を基準日とする配当につきましては、事業環境の先行きが不透明であるため、現時点では具体的な金額は未定であります。配当予想額につきましては、今後の事業環境を見極めつつ検討を行い、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

【添付資料】

(目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
参考資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）のわが国経済につきましては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により大きな影響を受け、一時的に生産活動は大きく低下いたしました。その後、供給面での制約等が比較的順調に解消し、生産活動は持ち直してまいりました。

特殊鋼業界におきましても、震災発生後、特に自動車分野での生産が低下した影響を受け、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産は、一時的に減少いたしました。その後の回復もあり、前年同期比では微減に留まりました。

このような中、当第2四半期累計期間の当社グループの販売数量は、輸出の回復等による追い風もあり、比較的順調に推移いたしました。これにより、売上高につきましては、前年同期比87億1百万円増の851億6百万円となりました。利益面につきましては、コストダウンの実施にも注力いたしましたが、円高の影響や人件費等の固定費の増加などもあり、経常利益は、前年同期比10億4百万円減の60億13百万円、四半期純利益は、同4億79百万円減の35億65百万円となりました。

事業セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

鋼材事業

東日本大震災の影響により自動車業界を中心とした一時的な生産の低下はありましたものの、その後の立ち上がりがあったことや輸出の回復などから、当第2四半期累計期間の販売数量は、比較的順調に推移いたしました。これにより、売上高は前年同期比74億14百万円増の785億67百万円となりました。一方、営業利益につきましては、コストダウンの実施に注力いたしましたものの、円高の影響や人件費等の固定費の増加などにより、前年同期比5億33百万円減の55億60百万円となりました。

特殊材事業

耐熱・耐食合金、金属粉末製品などの製造および販売を行っており、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比6億64百万円増の31億92百万円、営業利益は前年同期比2億53百万円減の3億32百万円となりました。

素形材事業

鋼材事業と同様、販売数量が比較的順調に推移したことなどにより、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比3億50百万円増の82億43百万円となりました。営業利益につきましても、鋼材事業と同様、円高の影響や固定費の増加などにより前年同期比3億45百万円減の4億24百万円となりました。

その他

子会社を通じて、情報処理サービスを行っております。当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比26百万円減の5億5百万円となりました。営業利益は前年同期比37百万円減の23百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末の総資産残高は、たな卸資産、有形固定資産が増加したものの、現金及び預金の減少などにより、1,881億5百万円（前期末比1億7百万円減）となりました。

負債残高は、未払金が増加したものの、借入金の減少などにより、936億77百万円（前期末比19億45百万円減）となりました。

純資産残高は、四半期純利益の計上などにより944億28百万円（前期末比18億37百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、中長期的には中国・インドを中心とする新興国の経済成長等により緩やかな成長基調が続くと考えられますが、足下では、ギリシャ財政危機を契機とした欧州を中心とする金融不安や、新興国のインフレ抑制策等による経済成長鈍化の懸念、ユーロ安・ドル安・円高による企業収益の圧迫、さらには長期化が懸念される電力供給問題などの不安要素もあり、当社グループを取り巻く経営環境は、不透明性を増しております。

こうした中、当社グループとしては、需要家ニーズや需要動向への的確な対応、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力すると共に、コストダウンのさらなる徹底等の内部努力や、鉄スクラップサーチャージ制度の拡充、確立など、高品質の特殊鋼を適切に供給出来る事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組み、より一層の企業価値の増大を図っていく所存であります。

以上のことを総合的に勘案し、通期の業績予想につきましては、売上高1,650億円、営業利益135億円、経常利益130億円、当期純利益77億円といたします。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、今後の電力供給事情等、様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,990	12,554
受取手形及び売掛金	52,847	52,783
商品及び製品	7,028	8,744
仕掛品	21,030	24,845
原材料及び貯蔵品	14,080	14,558
その他	3,198	3,215
貸倒引当金	△12	△8
流動資産合計	117,162	116,693
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	34,048	32,737
その他(純額)	24,778	27,822
有形固定資産合計	58,827	60,559
無形固定資産	740	688
投資その他の資産	11,482	10,164
固定資産合計	71,050	71,412
資産合計	188,213	188,105
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,040	16,206
短期借入金	35,389	35,802
未払法人税等	2,664	2,085
賞与引当金	2,399	2,293
役員賞与引当金	94	37
その他	13,090	14,759
流動負債合計	70,678	71,186
固定負債		
長期借入金	22,400	20,223
退職給付引当金	1,310	1,335
役員退職慰労引当金	56	50
環境対策引当金	376	376
その他	800	506
固定負債合計	24,943	22,491
負債合計	95,622	93,677

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,182	20,182
資本剰余金	22,595	22,596
利益剰余金	50,138	52,896
自己株式	△1,756	△1,765
株主資本合計	91,160	93,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,728	798
為替換算調整勘定	△706	△718
その他の包括利益累計額合計	1,021	80
少数株主持分	409	437
純資産合計	92,591	94,428
負債純資産合計	188,213	188,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	76,405	85,106
売上原価	63,522	72,464
売上総利益	12,883	12,642
販売費及び一般管理費	5,471	6,274
営業利益	7,411	6,368
営業外収益		
受取利息	15	5
受取配当金	65	91
その他	175	162
営業外収益合計	257	259
営業外費用		
支払利息	246	247
為替差損	263	285
その他	141	81
営業外費用合計	651	614
経常利益	7,018	6,013
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5
土地売却益	289	—
債務保証損失引当金戻入額	142	—
貸倒引当金戻入額	44	—
特別利益合計	476	5
特別損失		
固定資産除売却損	393	155
投資有価証券評価損	249	4
ゴルフ会員権評価損	16	—
ゴルフ会員権売却損	3	—
特別損失合計	662	159
税金等調整前四半期純利益	6,832	5,858
法人税、住民税及び事業税	374	1,939
法人税等調整額	2,389	325
法人税等合計	2,764	2,264
少数株主損益調整前四半期純利益	4,068	3,593
少数株主利益	23	28
四半期純利益	4,044	3,565

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,068	3,593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,208	△929
為替換算調整勘定	△77	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△5
その他の包括利益合計	△1,308	△941
四半期包括利益	2,760	2,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,745	2,623
少数株主に係る四半期包括利益	14	28

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	65,961	2,527	7,893	76,381	24	76,405	—	76,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,192	—	—	5,192	507	5,700	△5,700	—
計	71,153	2,527	7,893	81,574	532	82,106	△5,700	76,405
セグメント利益	6,093	586	769	7,449	60	7,510	△98	7,411

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業であります。
 2. セグメント利益の調整額△98百万円は、棚卸資産の調整額△94百万円、セグメント間取引消去等15百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△19百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	73,624	3,192	8,243	85,060	46	85,106	—	85,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,943	—	—	4,943	459	5,402	△5,402	—
計	78,567	3,192	8,243	90,003	505	90,509	△5,402	85,106
セグメント利益	5,560	332	424	6,317	23	6,340	27	6,368

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業であります。
 2. セグメント利益の調整額27百万円は、棚卸資産の調整額21百万円、セグメント間取引消去20百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△15百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

参考資料

平成24年3月期 第2四半期決算発表

<連結>

1. 当第2四半期の業績と通期の予想

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	通期	前期	増減額	増減率 通期
	(実績)	(実績)			(予想)	(実績)		
売上高	85,106	76,405	8,701	11.4	165,000	159,512	5,487	3.4
営業利益	6,368	7,411	△1,043	△14.1	13,500	14,199	△699	△4.9
経常利益 (ROS)	6,013 (7.1)	7,018 (9.2)	△1,004 (△2.1)	△14.3	13,000 (7.9)	13,395 (8.4)	△395 (△0.5)	△3.0
当期純利益	3,565	4,044	△479	△11.9	7,700	7,822	△122	△1.6
設備投資	6,552	7,417	△864	△11.7	16,000	11,827	4,172	35.3
減価償却費	4,782	4,687	95	2.0	11,000	9,979	1,020	10.2

(参考) 四半期業績推移

(単位：百万円、%)

	23年3月期					24年3月期	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期	7-9月期
売上高	36,061	40,344	41,054	42,051	159,512	42,244	42,862
営業利益	2,983	4,426	3,771	3,015	14,199	3,420	2,948
経常利益 (ROS)	2,880 (8.0)	4,136 (10.3)	3,374 (8.2)	3,002 (7.1)	13,395 (8.4)	3,335 (7.9)	2,677 (6.2)
当期純利益	1,651	2,393	2,056	1,720	7,822	2,007	1,557
棚卸資産評価損影響	○504	○17	×14	○28	○536	○112	×42
〃 を除く経常利益	2,375	4,118	3,389	2,973	12,859	3,223	2,719

2. 当第2四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 販売数量・価格・構成	22	1. 原燃料価格の上昇	25
2. 変動費のコストダウン	14	2. 固定費の増加	16
		3. 棚卸資産評価損影響	5
計 (A)	36	計 (B)	46
		差引 (A) - (B)	△10

3. 24年3月期(通期予想)の経常利益増減要因 (対前期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 販売数量・価格・構成	42	1. 原燃料価格の上昇	60
2. 変動費のコストダウン	36	2. 固定費の増加	20
3. 営業外損益の改善	3	3. 棚卸資産評価損影響	5
計 (A)	81	計 (B)	85
		差引 (A) - (B)	△4